

# 日本経営診断学会「第 58 回全国大会」報告およびラウンドテーブル・ディスカッションの募集について(お知らせ)

2025 年度の日本経営診断学会第 58 回全国大会は、「地域創生と企業経営—持続可能な社会の構築—」を統一論題として、2025 年 10 月 4 日(土)～5 日(日)の日程で、札幌学院大学新札幌キャンパス（北海道札幌市）にて開催することになりました。ご報告を希望される会員は、下記の要領にしたがってお申込み下さい。

## I. 開催日程

10 月 4 日（土）午前 午後	自由論題報告、大学院生報告、診断事例報告 講演、統一論題報告、共同研究プロジェクト報告、会員総会、学会 賞表彰式、懇親会
10 月 5 日（日）午前	自由論題報告、ラウンドテーブル・ディスカッション

- ※1 報告者数、講演者の都合等により一部日程に変更が生じる場合があります。  
※2 イベント等が重なりますと予約が取りにくくなることもございます。ご宿泊を希望される方は早めに宿泊予約をお取りください。

## II. 報告募集について

### 1. 報告申込み

#### [ 申込方法 ]

- (1) 統一論題報告、自由論題報告、大学院生報告、診断事例報告、共同プロジェクト研究報告の申し込み希望の方は、以下の内容を日本経営診断学会「第 58 回全国大会」報告申込フォーム（Google Forms）に入力し申し込みください。

報告申込サイト：

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScwv4sA70m44x9BL6TxF7DMX4CST3artild4JkTJifbhqJf8w/viewform?pli=1>

(1)氏名	(2)所属	(3)所属部会	(4)メールアドレス
(5)報告希望の区分（統一論題報告、自由論題報告・共同研究プロジェクト報告・大学院生報告・診断事例報告）		(6)審査希望の有無（大学院生報告・診断事例報告*のみ）	
(7)発表者全員の氏名、所属先		(8)報告の表題	(9)報告要旨（200 字程度）
(10)報告キーワード（3～5 つ）		(11)部会での報告日（予定、未定を含む）	
※診断事例報告の審査を希望する場合は、診断事例優秀賞の他に、日本中小企業診断士協会 連合会賞の審査対象ともなります。			

- (2) 報告希望申込みの期限は **6 月 30 日（月）**とします。締切日以降の申込みは受け付けられません。  
(3) 報告希望申込み **受付期間終了後**、大会運営委員会から申込み受付の連絡を E-mail でいたします。  
（報告決定ではありません。）7 月 7 日（月）までに連絡がない場合は、お手数ですが大会運営委員会までお問い合わせ下さい。

#### [ 注意事項 ]

- (1) 原則として、報告者は（共同研究の場合でも）全員、本学会会員の方とします。また、会員であっても、年会費（2025 年度会費：2024 年 9 月～2025 年 8 月）が報告申込時点で未納の方の報告は受け付けません。ご注意ください。  
(2) また、原則として、全国大会で報告する前に、各自が所属する部会等で報告することが義務付けられていますのでご注意ください（共同研究プロジェクト報告を除く）。（この要件についてご不明な点がございましたら、ご所属の部会に お問い合わせください。）  
(3) 統一論題報告希望者が多数の場合は、自由論題でのご報告をお願いすることもありますので、予

めご了承下さい。

(4) 発表 20 分・質疑応答 10 分の計 30 分です。

## 2. 報告者の決定から予稿集原稿の提出まで

- (1) 7 月 14 日（月）までに報告者の決定に関する連絡および予稿集原稿作成依頼を E-mail にてご連絡致します。
- (2) 予稿集原稿につきましては、学会ホームページ（「論集手続き」）より「論文テンプレート（研究論文）」をダウンロードし、これに基づいて執筆して下さい。ただし、紙幅は 4 ページとします。1 ページ目上部左側の「研究論文（自由論題）」の箇所は、報告区分に応じて、「統一論題報告」、「自由論題報告」、「共同研究プロジェクト報告」、「大学院生報告」、「診断事例報告」のいずれかに変更してください。また、テンプレートの最後にある英文タイトル、著者名、所属、メールアドレス、英語での Abstract, Key word は省略してください。
- (3) 予稿集原稿の提出は、提出用のグーグルドライブに各自が PDF ファイルをアップロードする方法を予定しています。報告申込をされた方に、大会 1 か月前までに、予稿集原稿のアップロード用の URL を送りますので、9 月 12 日（金）までにアップロードをしてください（アップロードの期間は、他の報告申込者も提出ファイルを読める状態になります。気になる方は直前にアップロードするか、メール添付で送付してください）。

## 3. 大学院生報告優秀賞表彰の審査を希望される方へ

- (1) 大学院生報告優秀賞表彰の審査を希望される場合は、報告申込時に申請し、上記の要領に従って予稿集原稿の提出を行ってください。（過去に優秀賞を受賞された方は、優秀賞審査を申請できませんのでご注意ください。）
- (2) 予稿集原稿とは別に、論文審査（事前審査）のための論文を E-mail の添付ファイルにて大会運営委員会宛にお送り下さい。論文は、学会ホームページにある「論文テンプレート（研究論文）」に従って作成してください（6 ページ以内）。提出期限は **9 月 12 日（金）** です。論文が期日までに提出されない場合、審査の対象とはなりません。また、発表審査（当日審査）の対象となる報告内容と提出する論文の内容が著しく異なることがないように十分注意してください。なお、審査を希望しない大学院生報告の場合は論文を提出する必要はありません。
- (3) 大学院生報告の優秀賞表彰は 3 つの申請区分（「一般院生部門」、「留学生部門」、「社会人院生部門」）を設けていますので、申込時に該当区分を明記してください。
- (4) 大学院生報告優秀賞表彰は、論文審査（事前審査）と発表審査（当日審査）の 2 段階で行われます。まず、論文審査で表彰候補者を絞り、その候補者のみに対して発表審査を実施いたします。発表審査対象者の公表はいたしません。以下に論文審査と発表審査の評価項目を示しますので、ご参照ください。

### 【論文審査（事前審査）評価項目】

評価項目	項目内容
独自性	A 研究内容の新規性、B 研究成果・知見の明確性、C 新領域開拓の期待性
論理性	A 誤字、脱字の状況、B 先行研究の渉猟性、C 精深かつ体系的知識性など
形式性	A 起承転結・三段論法など論文形式、B 現状分析・課題認識・改善策などの明確性、普遍的命題から個別的事例の命題を検討する演繹法、個別事例から法則性を見出す帰納法などの論文構成、C 文献・雑誌・統計資料の引用や明示の文献妥当性など

### 【発表審査（当日審査）評価項目】

評価項目	項目内容
説得性	A 時間配分・テンポの適切性、B 言葉の明確性、C 報告資料の作成・利用状況など
整合性	A 主題と結論の整合性、B 主題と章・節の整合性、C 発表内容が歴史研究・理論研究・実証研究・事例研究の中のどれと整合性が取れているかなど

### Ⅲ.ラウンドテーブル・ディスカッションの募集について

2025 年度の日本経営診断学会「第 58 回 全国大会」(会場：札幌学院大学新札幌キャンパス) では、通常の報告セッションに加えて、「ラウンドテーブル・ディスカッション(RD)」を開催することにいたします。ラウンドテーブル・ディスカッションとは、円卓を囲み、話題提供者(「オーガナイザー」および「発表者」)のテーマについて、自由に意見を交換しながら議論する場です(詳細は下記の説明をご参照ください)

報告をご希望される方は、下記の要領に従ってお申込みくださいますよう、お願いいたします。

#### 1. ラウンドテーブル・ディスカッションとは

ラウンドテーブル・ディスカッションは、テーブルを囲み、話題提供者(「オーガナイザー」および「発表者」)のテーマについて、自由に意見を交換しながら議論する場です。先着順にテーブルに着席した参加者は、「討論者」として自由に発言することができます。

ラウンドテーブル・ディスカッションは研究成果を報告するだけではなく、現在抱えている研究上の疑問、現場での課題、課題についての解決策などを持ち寄り、参加者全員で当該のテーマについて議論します。また、これまでの現場での体験や研究成果をもとに、新たな仮説を提案し、それをもとに議論することも可能です。ただし、ラウンドテーブル・ディスカッションでは、必ずしも議論した結果が特定の結論に至ることを目的とはしません。

1 つのセッションは 60 分または90分とします。各セッション1~4 件の発表件数で実施します。一般セッションとは異なり、全体の半分以上の時間を討論に充てることとなります。十分な時間をかけて話題提供者と討論者が自由に意見交換を行い、参加者全員が同じ立場と目線で話し合います。

また、議論した内容を踏まえた上で、話題提供者だけでなく、参加している方々の研究についても改めて深く考えて、今後のご自身の研究をどのように発展させたいかを考え、その内容をグループで共有し、意見や感想をやりとりする研究者の交流の場としても活用していただくことができます。

さらに、討論者以外で、周囲のオブザーバー(周囲の聴衆)も議論に参加することが可能です。話題提供者と討論者が意見を交わしている状況に、オブザーバーが発言することもできます。

#### 2. ラウンドテーブル・ディスカッションの実施要領

○ 「オーガナイザー」	セッションの企画者
○ 「発表者」	セッションにおける報告者
○ 「司会者」	話題提供者と討議の開始と進行を支える参加者
○ 「討論者」	テーブルを囲んで討論する参加者
○ 「オブザーバー」	テーブルの周囲の聴衆

※「参加者」とは、上記の全員(同一会場にいる全員)のことを指し、「話題提供者」とは、「オーガナイザー」と「発表者」との両者を指します。

#### [ 進行手順 ]

- ① ラウンドテーブル・ディスカッションは、1 クラス2 セッション(2 テーマ)を予定し、話題提供者(「オーガナイザー」および「発表者」)も参加者(討論者)も、ともに着席して開始します。なお、途中の入退場は極力控えてもらうようお願いします。
- ② まず話題提供者が、研究の概要と論点についての説明を行います。セッションの時間の半分以上を討論の時間に充てるため、この説明が長くなり過ぎないように気をつけます。
- ③ 次に討論者全員が、自己紹介を交えて、ショートコメントを行います。
- ④ その後は、話題提供者の発表の流れに沿いながら、討論者などからのコメントを交え、参加者全員で意見交換を進めます。意見が活発に出始め、論点が具体化したら、その流れに任せて進行します。

- ⑤ 今回のラウンドテーブル・ディスカッションでは、討議に加わらず、オブザーバーとして周りで見学をするだけの参加も可能とします。しかし、ご自身の意見を述べるだけでも研究の交流が生まれるため、可能な限りテーブルに着席し、討議に参加して頂けたら幸いです。一人でも多くの方がテーブルに着席して議論に参加すると意見交換も盛り上がりますので、積極的な参加をお願いします。

#### [ 司会者の役割 ]

- ・ 司会者は、第一の参加者として発言者を助け、ラウンドテーブルを囲む全員が交流できるよう、話題提供者および討議の開始と進行を支えます。議論のための時間（セッションの半分以上）を確保するだけでなく、参加者に対して発言を促すようなことも状況に応じて行います。
- ・ ただし、研究報告の主体は話題提供者であり、討議の主体は話題提供者と討論者であることに注意をします。司会者が進行に気を使わずとも、両者の発言が明確に進み始めたら、司会者は討議について自然の成り行きに任せることにします。
- ・ なお、司会者は、全体の意見をまとめたり、結論づけたりすることに責任を負う必要はありません。
- ・ 討論者や他の参加者と協力し、時間通りの開始と終了を目指して、時間の管理と進行を行っていただきます。

### 3. 資料の準備と教室設備について

話題提供者（「オーガナイザー」および「発表者」）は、テーマについて議論できるような発表用の資料（プレゼン用ファイル、配付資料等）の準備をお願いします。資料を配布する場合は、1つのセッション当たり、20部程度を目安に用意してください。

### 4. 申込方法および注意事項

- (1) ラウンドテーブル・ディスカッションを企画されたい方は、「オーガナイザー」として、テーマ概要、オーガナイザーの氏名、発表予定者、希望時間（60分または90分の別）について、**6月30日(月)**までに大会運営委員会（下記参照）宛にメールでご連絡ください。その際、件名に「ラウンドテーブル・ディスカッションの申込み」と明記してください。
- (2) 申込に当たっては、オーガナイザーの他に、ご自身以外に1名以上の発表予定者を記載してください。
- (3) ご連絡頂いた企画については、大会運営委員会が採否を判断します。採否の結果については、7月上旬を目処に、申込者（オーガナイザー）に対してE-mailでご連絡いたします。
- (4) オーガナイザーは、予稿集原稿として、テーマと企画趣旨等を1ページにまとめたものを9月12日（金）までに大会運営委員会まで提出してください。なお、個別の発表者からの予稿原稿は、必ずしも提出の必要はありません。

#### 【 申込みおよび問い合わせ先 】

日本経営診断学会大会運営委員会  
委員長 坪井明彦（高崎経済大学）

E-mail : tsuboaki[at]tcue.ac.jp([at]を@に変えてください)